

バプテスト 北九州地方連合ニュース

発行日: 2019.7.14 | Vol.40 | 発行者: 山崎克明



皆様に支えられて、宣教支援センター主事として5年目を迎えることができました。主日礼拝、祈禱会、地方連合の主催行事、各教会の行事と、主事は北九州地方連合の加盟教会を足しげく訪ね歩いています。読者の皆様も主事になったつもりで、教会のいまを追体験していただければと思います。

一歩目 芦屋教会

4月21日のイースター礼拝は、西南女学院中学の生徒さんと保護者の方、愛生幼稚園の先生方や、施設で暮らしている教会員のご夫妻などが続々と来られて、なんと19名でささげることができました。イースターエッグが豊かに用いられました。無牧師のいまも愛生幼稚園との交流が続いていること。それが何よりの喜びです。



新たに聖歌隊が組織されて、毎月第4主日に特別賛美をささげようになりました。また会堂の和室にラグを敷いて、長机と椅子を置きました。ひざを悪くされている方でも、安心して主日の昼食や祈禱会に参加できるようになりました。今年度は主事が芦屋教会に伴走させていただいています。遠賀川流域教会のつながりの中で、最寄りの高須教会とのかかわりを大事にしていきたいと思っています。

二歩目 豊前教会

6月21日(金)若手牧師主事勉強会を豊前教会を行いました。発題を伺いながら、私は豊前教会に連なる皆様方が「自立と協力」について真剣に考え、新会堂建築を教会形成の事柄として話し合ってきていることに、静かな感動を覚えました。

本山大輔牧師は、「教会の自立とはどのように協力できるかということです。そのためには自分たち自身のリソース(資源)を知っておくこと、高めておくことが必要です」と語ります。

豊前教会にはハンドベルクワイア、チャペルコンサート、教会組織、新会堂建築、牧師館建築、フライヤー(チラシ)作成、バイリンガル(日英)対応などというリソースがあります。与えられた恵みを独り占めするのではなく、近隣教会と分かち合うことが、地域協働の出発点であると思えました。新会堂は9月に竣工する予定です。



7月・8月の予定

- 7月20日(土)教会おじゃまします光教会 14時
- 8月12日(月)連合8・15 平和集会(シオン山) 13時
- 15日(木)連合教会教育委員会・少年少女会共催
夏の交流会(シオン山) ~16日
- 27日(火)第2回プレディガーゼミナール(東八幡) ~28日

宣教支援センターHP&Facebook

ニュースレターなどのバックナンバーを閲覧するにはパスワードが必要です。
HP: <http://bapkitaq.jimdo.com>
パスワード: kitag2015



私たちの身近にあるカルト

今回の研修会には、別府市内の他教派教会の会員や牧師の方々、また大学教職員や学生、留学生の方々の参加もあり、カルト問題について共に学び考える貴重な時となりました。当日は都合がつかずに欠席されましたが、カルト問題への深い憂慮と高い関心の声を寄せてくださった、大分県下の他教会の牧師の方々も何人もおられました。

主な内容として「異端問題とカルト問題の違い」、「洗脳とマインド・コントロールの違い」、そして最新のカルト系団体の動向とその活動内容について、講師の岩崎牧師より詳しくお話を伺うことができました。講演の後には質疑応答の時を持ちました。

実際に、別府国際教会に通う学生たちからも「大学構内でカルト系団体のメンバーと思われる人たちから“一緒に聖書を読みませんか?”などと声を掛けられた」という話を聞いたことがあります。またカルト系と認識されている団体主催の国際交流ツアーに実際に参加を申し込んだという事例もありました(その時は、その学生が申し込み直後に牧師にその事を知らせてくれたので、幸い参加を取り消すことができました)。

また、カルトは決して自分たちと無関係ではなく“牧師も教会も自分自身が、いつでもカルト化する可能性がある”ということについても、真剣に考えさせられました。今後もこの問題について学び続け、これ以上カルト被害が広がらないように祈り備えていきたいと思っています。(当日参加者数 41名)

*参加者からの感想(抜粋)

「カルトのことを知らない、というのが一番怖いなと思いました。今の時代、何の情報も正しくて、自分がどう行動すれば良いのか、しっかり考えつつ過ごさなければいけないな、と思いました」。「寄る辺としてカルトが力を持つということは、今の時勢を象徴しているとも言えるのではないのでしょうか。人の弱さゆえに、現代の不安定な社会情勢のなかで皆、何か頼るものを求めているのではないのでしょうか。『カルト』は若い青年たちにだけでなく、誰にでも恐怖として存在していることを思いました。対策に取り組んで下さっている先生方に感謝します。もっとこういう研修の場を多くもっていただいて事前に危険から救えるように、みんなの意識を高めていけたらと思います」

【酒井朋宏(別府国際)】

開催日時: 2019年5月19日(日) 15時~17時 会場: 別府国際バプテスト教会

PickUP! CONTENTS

- 連 合 「連合年次総会ハイライト」
- 特別企画 「教会と子どもたち①~下関教会の小羊会より」
- 各 会 「連合小羊会のリーダー研修in下関」

連合年次総会ハイライト

4月29日(月)シオン山教会において、バプテ
スト北九州地方連合年次総会が開かれました。
23教会から102名(陪席26名含む)の参加が
ありました。

初めに遠賀川流域教会有志(芦屋、高須、直
方、若松)の皆さんによるハンドチャイムの演奏
がありました。議長に山本龍一郎牧師(小倉)、書
記に泉選也牧師(下関)、岩崎一宏牧師(枝光)が選
出され、議事に入りました。

1. 2018年度活動報告

委員会報告では、2018年度をもって社会ヤ
スクニ委員長の働きを終えることになった藤田
英彦委員長(東八幡)に、議場から惜しみない拍手
が贈られていました。

また宣教支援センターが連盟理事会に提出し
た「全国支援・地域協働プロジェクト前期総
括」の内容を巡り、質問と修正意見が出されま
した。ご指摘のあった誤記を訂正することを条
件に、2018年度活動報告は賛成多数で承認さ
れました。

2. 2019年度活動計画

初めに山崎克明連合会長(富野)から、連盟全国
支援・地域協働プロジェクト「宣教支援センタ
ー」後期4年における北九州地方連合の活動方
針が示されました。

今後、宣教支援センターの設立目標である
「教会の強化(教会の成長)」「地方連合の活性
化」を成し遂げるべく、地方連合の委員会が一
丸となって取り組む決意を新たにしました。

1)教会の強化(教会の成長)

各教会が主体的かつ信仰的に自らの在り方を選び取ること。その結果として生み出される
地方連合における教会の多様性を共に喜び合うこと。

2)地方連合の活性化

教会どうしの地域協働を生み出すこと。教会をより広く地域に開き、教会と地域の関係を
深めること。(地域の一員として)

3. その他

総務財務委員会より、これまで地方連合が負担してきた協力献金・宣教支援センター支援
献金の払込手数料を、各教会負担に改める提案がありました。特に異議はなく、今後は郵便
振替用紙(青色)を利用することに決まりました。

総会に提案された議題はすべて賛成多数で承認されました。議長の山本龍一郎牧師(小倉)、
書記の泉選也牧師(下関)、岩崎一宏牧師(枝光)のお働きを感謝いたします。

【齊藤弘司主事(シオン山)】



教会と子どもたち①～下関教会の小羊会より

下関教会の小羊会は基本的に、第四土曜の午前中に
定例会を持っています。『世の光』の例会プログラム
を参考に、クッキングタイムを盛り込みながら無理な
なく楽しく活動しています。世界祈祷週間には恒例のマ
ドレーヌを焼いてその売り上げを献金としたり、礼拝
堂の探検をして普段では気付かない新しい発見をし
たり、ゆで卵を装飾してイースターエッグを作ったり
等々。ある日の例会で、子どもたちに「小羊会を絵と
言葉で表してみよう」と紙を渡すと「一緒に料理をし
たり皆で食べたりするのが楽しい」「聖書の話が聞け
ていい」といったことが書かれていました。おぼつか
ない手で包丁を握り、野菜を切ったり、お米を研いだ
り…そうして自分たちの手で作った食事を、迎えに
来た親たちと一緒に食べることは本当に豊かで祝福に
満ちた一時です。

順風満帆の歩みと思われるかもしれませんが、数年前、対象者外の参加や小羊会の在り方
を巡って、女性会の中で議論した経緯があります。結果的には対象者の枠を少し広げること
になり、幼稚園児も参加しています。一人の母親が「学校では緊張して友達とも先生とも上手
くコミュニケーションが取れない我が子がここに来て解放されて…あんなに屈託の無い笑顔
は見たことない」と語ってくれた時、私は安息日にイエス様がなされたことを思い浮かべま
した。誰のための教会なのか、誰のための小羊会なのか。日々置かれている子どもたちの状
況、喜びも困難も共に分かち合い担い合いながら、真の愛であるイエス様に子どもたちが導
かれるよう、祈って支えていただきながら歩んでいきたいです。【西山美奈子(下関)】

連合小羊会のリーダー研修 in 下関

6月22日(土)13時から下関教会において、第1
回地方連合小羊会リーダー研修会を開催しました。こ
れは2月2日(土)小倉教会で行われた地方連合小羊
会委員の話し合いで、2019年度の小羊会キャンプ
を休止すること。その代わりに子ども達にかかわっ
ている奉仕者に研修の場を設けることが話し合われ、新
しく立ち上げたプログラムです。5教会(下関、富野、
小倉、シオン山、南小倉)から12名が参加しました。

その日の午前中に行われた下関教会の小羊会例会の様子を動画で観ながら、リーダーの西
山美奈子さんから詳しい説明を受けました。その後、質疑応答、そして参加教会の子ども達
の状況を分かち合う時を持ちました。

少子化の影響を受けて、小羊会は休止状態という教会が増えています。信仰継承を目的と
する小羊会活動ではありますが、時代の移り変わりと共に、子ども達が本来の自分を取り戻
すことのできる、居場所としての働きが求められているようにも感じています。

これからも小羊会リーダー研修会を続けてまいります。また10月14日の連合まつりでは「こどもたち全員集合!」と題しまして、地方連合小羊会の全体例会を行う企画を準備し
ています。どうぞご期待ください。【小橋恵美子 連合女性会長(下関)】

